

会 議 録

会 議 名	平成29年度第1回小金井市史編さん委員会		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	平成29年5月15日(月) 午後2時から3時		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎801会議室		
出 席 委 員	根岸委員長 牛米委員 中嶋委員 日高委員 林委員 井上委員 上原委員		
欠 席 委 員	山本委員		
事 務 局 員	内田生涯学習課長 山崎文化財係長 高木主事(学芸員)		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	無
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 平成28年度の市史編さん事業について</p> <p style="margin-left: 2em;">ア 市史編さん委員会</p> <p style="margin-left: 2em;">イ 編集委員会議</p> <p style="margin-left: 2em;">ウ 部会の活動</p> <p style="margin-left: 2em;">エ 『小金井市史 資料編 近世』</p> <p style="margin-left: 2em;">オ 『市史編纂資料第56編梶野新田梶野家文書(1)』</p> <p>(2) その他の事業について</p> <p style="margin-left: 2em;">市民協力員、古文書講座について</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 平成29年度の事業計画について</p> <p style="margin-left: 2em;">ア 市史編さん委員会・会議3回</p> <p style="margin-left: 2em;">イ 編集委員会議</p> <p style="margin-left: 2em;">ウ 部会の活動</p> <p style="margin-left: 2em;">エ 市史編さん資料調査委託について</p> <p style="margin-left: 2em;">オ 考古資料写真撮影等委託について</p> <p style="margin-left: 2em;">カ 市史編纂資料の編集・発行</p> <p style="margin-left: 2em;">キ 古文書講座、郷土史フェアについて</p> <p>(2) 次回以降の会議日程</p> <p style="margin-left: 2em;">第2回 平成29年10月16日(月) 午後2時～</p> <p style="margin-left: 2em;">第3回 平成30年 2月 5日(月) 午後2時～</p> <p style="margin-left: 2em;">会 場 小金井市役所第二庁舎8階801会議室</p>		

3 視 察 (仮称) 本町六丁目遺跡

4 配付資料

- (1) 第3回小金井史編さん委員会 編集委員会議 概要(資料1)
- (2) 小金井市史 通史編 執筆要項(案) (資料2-1, 2-2)
- (3) 『小金井市史 通史編』章立て(案) (資料3-1, 3-2, 3-3, 3-4)
- (4) 小金井市史編さん年次計画(通史編作成計画) (資料4)
- (5) 東京の文化財第122号
- (6) 月刊こうみんかん 3/1, 4/1, 5/1号
- (7) 川崎平右衛門没後250年記念ゆかりのまち交流事業チラシ
- (8) 小金井桜季節展(川崎平右衛門没後250年記念チラシ)

会 議 結 果

根岸委員長 それでは、皆さん、こんにちは。お忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

急に暑くなりましたが、小金井市史も今年がいよいよ山場の1つになるかと思いますので、ぜひご協力のほどよろしく願います。

会議に先立ちまして、課長の交代がありましたので、ご挨拶をいただければと思います。

内田生涯学習課長 このたび生涯学習課長を拝命いたしました内田と申します。何名かの方には、既に部会のほうでご挨拶をさせていただいているのですが、改めまして、資産税課からまいりました。60周年に向けて、皆様方には非常にご協力いただいております。私も頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

根岸委員長 よろしく願います。

それでは、まず、1の報告に入りたいと思います。(1)平成28年度の市史編さん事業についてということで、アとイについては、高木さんのほうから願います。

高木主事(学芸員) 報告の前に、資料の確認をさせてください。

本日お配りしておりますのは、委員会の資料といたしまして、資料1から資料4をご用意いたしております。

資料1、編集委員会議の概要につきまして。資料2、2-1と2-2がございます。小金井市史通史編の執筆要項(案)、さらに資料3、こちらは4ページ構成で、通史編の章立て(案)、最後、資料4といたしまして、年次計画をお配りしました。

それ以外ですと、小金井市文化財センターで現在、企画展として行っております、名勝小金井桜展のチラシ。もう一つが、こちらは川崎平右衛門に関するイベントですが、府中市が主催となっている交流事業のチラシをお配りしています。小金井市も協力という形で参加しております。今週末、20日及び21日に大きなイベントが催される予定となっております。小金井市からは市長の参加が予定されております。

根岸委員長 これ以外に何かありますか。

山崎文化財係長 はい。あと、東京都教育庁発行の機関紙「東京の文化財」と、同じ生涯学習部の公民館から配付依頼を受けている機関誌「月刊こうみんかん」をお配りしております。

1 報告事項

(1) 平成28年度の市史編さん事業について

ア 市史編さん委員会

高木主事(学芸員) お配りした資料は以上となりますので、早速、次第にしたがいまして説明させていただきます。まず、平成28年度の市史編さん委員会につきましては、昨年度は6月13日、11月14日、2月6日の計3回、開催いたしました。また、日高委員が6月より就任されております。委員会の中では、部会の進捗状況及び市民協力員の活動についてご報告い

ただき、今後の編さん事業等について協議いたしました。

イ 編集委員会議

高木主事(学芸員) 続けて、イの編集委員会議は、資料1をごらんください。その前に、通史編刊行に向けまして、編集委員会議を立ち上げまして、委員会と同じく3回開催しております。通史編の構成や体裁等について、この会議において検討いたしました。資料1は前回の2月6日に行われました編集委員会議の概要をお示ししております。

内容をご説明いたしますと、前回の内容といたしまして、各体裁の大枠を検討してまいりました。章、節、項、小見出しの構成、またはページ数の振り分け等、行ってまいりましたが、第3回の編集委員会議においては、1番の執筆要項案について、検討してまいりました。市史編さんの事務局側で内容を提示いたしまして、皆さんに確認を行っていただきました。

付表以外の表の掲載は、原則本文内で掲載をお願いします。市民の皆様が読みますので、なるべくわかりやすい、書き下し文等は平仮名、または片仮名に変換すること。今後、執筆要項、ルールについては適宜、変更等を加えてまいります。

次、通史編・資料編刊行に向けた調査活動について、このような内容で議論をいただいております。引き続き、通史編に向けた調査活動、または編集委員会議を行ってまいります。

この後、部会の活動を担当の委員にご報告いただきますが、考古、近世、近代、現代部会の各部会において、活動が行われております。その中で、各調査員において、活動報告と資料調査を実施しております。

私のほうからは以上となります。

根岸委員長 ありがとうございます。

編さん委員会と編集委員会議を一緒にご説明いただきましたが、資料1は特に編集委員会議の概要で、執筆項目案について、それから、通史と資料編刊行に向けた調査活動についてということが話し合わせ、具体的には資料2-1で基本的にはわかりやすい、また公共的な編著ということ、また一般市民が理解しやすいことを考える。表記もである調で、平易に執筆する。

それから、全体として統一するために、見出しは章、節、項、その下は小見出しとして太字で、それから、小見出しは1,000字から2,000字。大体900字程度で1ページになるかと思えますけれども、52字掛ける18行だから936文字で1ページになりますから、必ずページを開けば見出しが出てきて、どんなことが書いてあるかわかるように注意するという事。

それから、体裁はA5版、縦書きということで、今までの資料集と同じような形にする。

ページ分けは考古が150ページ程度、近世が200ページ前後、近代が250ページ前後、現代が300ページ前後と、近代、現代を重視した構成にするということ。

さらに、資料2-2は具体的に文体とか敬語とか、固有名詞、漢字、地名、人名、数字の表記や単位で統一をしようということで、このようなことを決めております。

それから、あと資料3-1に、これはまだ今後の検討になりますけれども、原始・古代・中世、近世、近代、現代の各部会で考えた目次をとりあえず載せてあります。項目は少し変わるかと思えますけれども、大体このような構成で考えているということでもあります。

これにつきまして、見たばかりで大変かもしれませんけれども、何か気がついたところでご意見、ご質問をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

今後も続きますので、会議のたびに、特に資料2、資料3は出てくるかと思えますので、もし気がついたところは、また次回にでもご意見をいただければということでもよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、もしこれについては重要なことですので、ほかのところでも気がついたときにも、ご意見をいただければと思います。

ウ 部会の活動

根岸委員長 それでは、続きまして、ウの部会の活動に移りたいと思いますが、各部会の先生方から簡単なお報告をいただければと思いますが、まず、考古の日高先生のほうからお願いできますか。

日高委員 昨年度の末に、考古部会の開催をいたしまして、それまでの調査の進捗状況の確認をいたしました。特に、今年度に入ってから行っていかなければいけないこととして、今日の配布資料の一番最後の年次計画というのがありますけれども、その資料編が今年度末に原稿締め切りで入稿するという形になっております。今年度中に原稿を仕上げ、入稿になりますので、今年度の前半が、いろいろな作業をする意味では勝負のところですので、それでいきますと、大きなこととしては、通史編にも使う可能性があります、考古の資料編のほうの写真撮影をしていく必要があるということで、事務局に具体的な予定なりを組んでいただくことにしております。

4月以降、今年度に入ってから、具体的な作業を急ピッチでやっていると間に合わなくなってしまうと思いますが、やっていくことになると思います。

それから、石器の分析もしていかなければいけないということで、ここについては、また後ほど、事務局のほうから説明していただけますか。

あと、各時代、旧石器、縄文、それから弥生-古墳、古代、中世となっております。中世は文献資料を中心にして、考古資料はほんとうに数が少ないので、それほど増えているわけではありませんけれども、今までの資料の再評価というあたりを中心に、それぞれ分担して作業しているところになります。

一番問題なのが縄文時代です。それぞれの調査員のほうで鋭意作業

はしているのですが、今年度の早い段階に図面などの全体像の体裁を統一する形でピックアップをして、その上で原稿執筆に早く取りかかるということをしていかないといけないと考えております。

各調査員のほうで、それぞれの分担の分析なりというのは鋭意進めていっている状況というところです。

根岸委員長

ありがとうございます。平成29年度のお話までいただきました。

次は近世で、私ですが、平成28年度の内容についてお話しいたします。平成28年度、小金井市史の資料編の近世の刊行に1年間充てました。ただ、ほかの自治体市の近世の資料編とは少し工夫をしまして、資料1点ずつに資料の内容を書いた構文、どんなことが書かれているというものを入れたり、それから、解説の最後に近世資料は漢文調で書いたりして読みにくいものですから、資料の読み方の基本みたいなものを入れまして、少しでも市民の方に読んでいただくという努力をしております。それに、1年間かけましたので、これから通史の執筆をするところですが、それは次の2の議題にありますので、そこでまたお話しできればと思います。

続きまして、近代、牛米先生、お願いいたします。

牛米委員

近代は、従来と同じように、今までは2カ月に1度部会を開催しまして、私たちのほうは、ここにありますように、通史編の章立てをつくるということで、28年の活動はしてきました。この段階で、追加調査等もやってきていましたけれども、あとは今年度が通史編ということですので、今年度はまた別の活動の形というか、仕切り直しでもってやっていこうということで、これまでと同じような活動をずっと続けてきております。このぐらいでございます。

根岸委員長

ありがとうございます。

それでは、現代の中嶋先生、お願いします。

中嶋委員

現代については、2月に報告したとおりで、それからあまり活動していないのですけれども、大体でいいますと、昨年度は補充調査を中心にしておりまして、林先生とかも含めて聞き取り作業をするとか、あと、資料編で見られなかった資料を探すとかということをしていました。

補充調査は、ほんとうは聞き取りなどについては、まだ未了ですけど、そのことはまた次年度でやる予定です。活動については、どちらかというと、今後どうやって作業をするかということ、2月から5月にかけて議論したところでございます。

今年度については、活動量について後ほどご相談いたしますので、よろしく申し上げます。

根岸委員長

ありがとうございます。

各部会の活動につきましては、昨年度の委員会でも丁寧な発表があったかと思っておりますけれども、これについて、何かご意見、ご質問はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

エ 『小金井市史 資料編 近世』

根岸委員長 次のエが「小金井市史 資料編 近世」。先ほども言いましたように、ほかの自治体市とは近世の場合、違った工夫はしたつもりでおりますので、それがどこまでわかりやすくなったかというのは、もともとマクロなもので、心配ではありますけれども、それなりの努力と工夫はしたつもりでおります。ぜひいろいろな意見をいただければ、次の通史編の執筆に生かせればと思っております。

これにつきまして、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

オ 『市史編纂資料第56編梶野新田梶野家文書』

根岸委員長 その次、オの「市史編さん資料第56編梶野新田梶野家文書」については、高木さんのほうからお願いします。

高木主事(学芸員) 梶野家文書につきましては、梶野町に所在します梶野さんたちの梶野家文書、合計1,000点以上の古文書が所蔵されていますが、今回、そのうちの約100点を所収しております。そのため、1番とつけております。ですので、第2巻以降は、随時編集した上で、今後数年、また、10年ぐらいかかるかと思っておりますけれども、計画的に刊行していくことになると思います。

A4版で約200ページを200部印刷いたしました。もとは根岸先生に委託をお願いしていたものを市史編さん事務局にて構成、編集いたしました。以上です。

根岸委員長 それは、委員の方々にはお配りしてありますか。毎年たしか配っていただいているかと思っておりますので。

高木主事(学芸員) 後ほど、すぐご用意いたします。

根岸委員長 よろしく願いいたします。

28年度の市史編さん事業について、全体にかかわって何かご意見、ご質問、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(2) その他の事業について

根岸委員長 それでは、次に、(2) その他の事業について、お願いします。

高木主事(学芸員) 2つございます。1つは事業というよりは報告なのですが、市民協力員、こちらを畑野時夫さんをお願いしておりますが、継続的に主に明治から大正期の個別調査を行っていただいております。昨年度、第3回において、報告の成果を提示しておるところでございます。引き続き、お願いをしております。

もう1点は、古文書講座についてご報告いたします。こちらは計3回行っておりまして、2月26日、3月5日、3月12日に実施いたしました。市史編さん調査員、近世部会の太田和子さんに講師を依頼いたしまして、テーマは江戸時代の小金井市内ということで実施いたしました。参加された受講者数は延べ61人となっております。

以上がその他の事業となります。

根岸委員長 ありがとうございます。
 これについて、何かご意見、ご質問いかがでしょうか。何か畑野さんの成果を市史編さん資料の中で、刊行したりして生かすことができるものはないでしょうか。

高木主事(学芸員) 大いにあると思います。非常に精緻に調査されていらっしゃるのので、多少の調整、編集は必要かと思いますが、これをジャンル分けして、時代に分けてつくるということは、今後も考えていかなければならないと思います。

根岸委員長 私も30年ぐらいおつき合いがあるのですけれども、畑野さんがまだお元気なうちに、一緒に協力して本にできるようなことを考えていただければと思います。

牛米委員 この調査された結果というのは、市史編さん資料として、今までも刊行されています。このところずっと資料調査の報告が中心ですが、そういう形で多分できるだろうと思います。それは、私達近代部会のところもかなり調べていただいていますので、そういうのをまとめるときには、私達も協力できると思います。

根岸委員長 ぜひ、そんなことも考えていただければと思います。
 ほかはよろしいでしょうか。

委員 (1 報告事項について 了承)

根岸委員長 ありがとうございます。

2 議題

(1) 平成29年度の事業計画について

ア 市史編さん委員会会議3回

イ 編集委員会会議

根岸委員長 それでは、次に、2の議題に入ります。平成29年度の事業計画について、アとイについては、高木さんのほうからお願いします。

高木主事(学芸員) 平成29年度の市史編さん委員会、こちらは例年どおり委員会は3回の実施を予定しております。また、編集委員会会議は、平成30年度が市制施行60周年ということですので、周年事業の一環として通史編を発行いたしますが、発刊に向けて編集方針や構成等の検討について、引き続き、編集委員会会議の場において、協議または検討を進めていただければと存じます。

根岸委員長 とりあえず、編さん委員会、編集委員会は今後、従来の形で進めるということでよろしいでしょうか。

ウ 部会の活動

根岸委員長 それでは、今、部会の活動になっていますが、日高先生、先ほどお話しいただきましたが、つけ加えることがございましたら。

日高委員 そうですね。資料がかなり分散している状況にあります。それは今までも何度か調査はしてきているところではあるのですが、どこまでの資料を使っていくかの選び出しを早めにして、その上で写真撮影なりとい

う形に進んでいかなければいけないと。できるだけ今年度の早いうちに、市史にはどういう資料を載せるのかというのを確定していかないといけないと考えています。補足として、そのぐらいでしょうか。

根岸委員長

ありがとうございます。

それでは次に近世ですが、1年間、資料集をつくっていただきましたので、基本的にその流れの中で執筆活動をしなればいけないということになっております。

4月に部会を開きまして、3-1にあるような、通史編の章立てを決めました。以後の予定としましては、さらに項とか小項目をそれぞれ検討してつくり上げます。基本的に、執筆委員、あるいは編集委員、調査員を入れまして9名おきまして、一人が1章を担当するというので、9章にしております。それから、この章立ては資料集の章立てとほぼ一緒にしておきまして、通史を考えながら資料編も組んでいったところがあります。一人1章ずつ担当して、今後、今年度の3月までに執筆をするということで、来月は小項目を検討し、その次の月から一回に2章か3章ぐらいずつ、それぞれの担当の執筆者が、それについての構想を丁寧に話しながら議論するというので、10月ぐらいまでにそれを終えて、あとは執筆に移ると、そんな検討を現在進めているところであります。

続きまして、近代、お願いいたします。

牛米委員

近代のほうは、やはり同じように、部会を4月16日に設定いたしました。去年はいろいろと事情がありまして部会を開けませんでしたので、とにかく早いうちに部会を開いて、今年度の体制というか、こんな形でやろうというので意思統一しようということで、16日に部会を開催しました。

基本的には原稿を書き上げることが大きな目標ですので、4月に1回やりましたので、次は7月とか12月という形で、年3回やりまして、そのときにそれぞれが中間報告、要するに、今この辺に来ていますよとか、あとは多分、やっていくといろいろ出てくると思うのですけれども、そういう調整もしよう。とにかく、顔を合わせて、お互いプレッシャーなんかを感じながらやろうかみたいなことになっております。

あと、4月16日の部会そのものは、もう既に章立て等は決まっております。担当も決まっております。体裁も決まりましたから、ページ数の分担自体も各調査員で大体のところは決めております。その中で、現在わかっている限りで、同じようなものがどうも重複しそうなところを再確認するというので、4月の部会では、それぞれの担当、要するに、ここまでやる、ここからそちらは別の人というようなことを、少し細かいところまで突っ込んだ検討をいたしました。

あとは、これから執筆活動をしていくときにいろいろと追加調査等も出てくると思うのですけれども、そういうことも、それぞれ会えなければメール等で連絡をとりながら、とにかく全体として原稿完成を目指しながらやっていきたい。大体昨年と同じように、部会を定期的に関

きながら、そこで調整、それから意見交換しながら進めていく、こんな形で考えております。

以上でございます。

根岸委員長 ありがとうございます。

では、続きまして現代です。

中嶋委員 現状を報告しますと、5月11日に部会を開きまして、半期分ぐらいの今後の活動を決めたということですがけれども、部会を開きながら、通史編の執筆をどうするかということですが。昨年度はどちらかというと補充調査のほうにむしろ重点を置いて、聞き取りとか、資料の掘り起こしをしましたけれども、今年度は多分それも余裕がないので、そちらのほうは個人個人でやっていただくことにして、基本的に部会の中心は通史編の執筆に充てることになりました。2ページ分に1つずつ小見出しを設けるという話だったと思いますけれども、今、担当があるので、6月、7月ぐらいまでに、その担当の部分に即して案を出してもらう形でやってみたいと思っております。資料3-3の現代のところの第四章というところがありますけれども、これは私の担当なので、小見出しもこういう形でつけてみたのです。これは昨年度出していますけれども、これをほかの方々にもやってもらう。6月ぐらいには小見出しをつけて、7、8、9月頃でその中身について検討した上で報告という形にしてもらって、そこから後はどうするかわかりませんが、とりあえず10月までに通史編の執筆直前までやっていくつもりです。そういうところです。

根岸委員長 ありがとうございます。それぞれの部会の予定をお話いただきましたが、いかがでしょうか。とりあえずよろしいでしょうか。ありがとうございます。

エ 市史編さん資料調査委託について

オ 考古資料写真撮影等委託について

カ 市史編纂資料の編集・発行

根岸委員長 続きまして、エの市史編さん資料調査委託、オの考古資料写真撮影等委託、それからカの市史編纂資料の編集・発行については高木さんからお願いします。

高木主事(学芸員) 順序に沿ってご説明いたします。

まず、エの市史編さん資料調査委託。こちらは先ほど日高委員からも一部ご説明がありましたが、市内の遺跡から出土した黒曜石の分析の調査を平成28年度も行ってありますが、今年度につきましても、28年度の調査の成果を踏まえながら、また新たな資料の調査を進めていきます。

少し内容をご説明いたしますと、平成28年度は時代としては旧石器時代の遺跡から出土した黒曜石、今年度はその旧石器に加えて、縄文時代の遺跡から出土した黒曜石を対象としています。これは準備でき次第、すぐに進めてまいりたいと思っておりますので、計画を練りたいと思いま

す。

続けて、オの考古資料写真撮影等委託について。資料編考古では、数多くの出土した発掘資料を掲載することになっております。そのため、写真撮影の業務を委託して行います。まず、それに向けた点数の絞り込みを進めていきます。これも早めの業務委託を行う考えです。

最後、カの市史編纂資料の編集・発行。こちらは梶野新田梶野家文書1に続けて、第2巻の発行を予定しております。点数はこれから確定しますので、現在、まだ絞りきれれておりません。一応、今年度の事業の1つとして、市史編纂資料は行う予定となっております。

以上、カまでご説明いたしました。

根岸委員長
中嶋委員

これについて、何かご意見、ご質問いかがでしょうか。

直接関係あるわけではないのですが、今日視察に行きます遺跡に最近、防空ごうの新しいものがあると聞いています。

高木主事(学芸員)
中嶋委員

推定防空壕です。

推定防空壕ですね。この前も見せていただいたのですが、なかなか珍しいものなので、一応写真に撮って、口絵に使えるような形で何とか保存しておいてほしいと考えています。これは業者に任せる必要も多分ないと思うのですが、遺跡がなくなってしまうらしいので、よろしくお願ひします。

高木主事(学芸員)

貴重なご意見ありがとうございます。この会議の後、発掘調査の視察に参加しますが、詳細は現地で説明いたしますけれども、古くは縄文時代から戦時中の遺跡が発見されておりますので、まさに今、市史編さんの真ただ中で、こういった成果を一部でも、少しでも載せられるよう、その辺は今後調整、検討してまいります。なるべく最新情報はやはり盛り込むのは大事かと思っておりますので、今後、また皆さんのご意見を伺いながら考えてまいります。

根岸委員長

写真で思い出したのですけれども、通史の中で、いろいろな写真が古代から現代まで必要になるかと思うのです。小金井の文化財センターでも随分写真を集めていて、市内の写真などはそれなりに使えるとは思っています。一方で通史ですと、例えば京都のお寺の風景ですとか、東京だったら何とかなると思うのですけれども、あるいは群馬のところだとか、そういうものが場合によったら必要になる可能性もありますので、みんながスナップ写真を持ち寄れば何とかなるということはあるのですが、少しそういうことも考えながら、通史の写真なり図なりをどうするかということ、そろそろ考えていかないといけないのではないかと思います。そこら辺も注意しながら、いろいろな写真とか図とかをこれから集めていかなければいけないと思います。そんなところをぜひ事務局でも少し頭の隅に置いていただくと、通史がつくられたときの挿絵などがちょっとほかと違っているような、そんな工夫もできると思います。写真で思い出しましたので、そんなところも考えていただければと思います。

ほかに何かございますか。部会以外の先生方のほうからも、何か感想

なり、あるいはご意見なり、もし一言いただければと思いますが、いかがでしょうか。

お願いします。

井上委員

ほんとうに感想ですけれども、これだけ詳細な章立てというか、案を出していただいたので、中身がいろいろとわかる感じで、興味深く拝見していました。それで、例えば近代等で、女性のことがどこで触れられるのかなとか、もしかしたら生活場面とか何かなのかなとか、いろいろ思っていたのですけれども、中嶋先生のお話で、要はもっと小見出しがいろいろ出てくると、またそこが見えてくるのかなというのがわかったところです。楽しみにしています。よろしく願いいたします。

根岸委員長

ありがとうございます。女性がどう出てくるかというのは、ほんとうに、30年前までの自治体史にはほとんどなかった。現在の自治体史はだんだんそういうものに注目してきたというのは、やはり一つの傾向だろうと思いますし、そこを編集委員の我々も考えていくようにいたしたいと思っております。

中嶋先生、何か。

中嶋委員

現代で言いますと、小見出しの中にも出てきますし、実際に今、調査する中でも婦人問題が出ていますので、大丈夫かと思えます。例えば、社会福祉とか児童福祉とか、そういうのは結局、女性の問題もありますので、そういう形になるのかもしれないし、小見出しの中でももう少し女性の活動という形で入れるのかもしれないかもしれません。小見出しレベルでは増えてくるし、今でも章節の中にありますので、ある程度は入れていくことになると思います。

根岸委員長

ありがとうございます。

牛米委員

なかなか女性は難しいですよ。資料に出てこないのですね。見方が悪いということでも必ずしもないと思うのですが、青年団なんかでも、例えば女性のそういう団体とかも地域であったりするのですけれども、ここはそういうのはあまり見えないですよ。ですから、今お話に出てきたようなところ、近世のほうも、それから現代のほうも、それは何かに入っていますので、もう少しそういうところは頭には入れておきたいとは思っています。

根岸委員長

ぜひよろしくお願いします。

林先生、いかがでしょうか。

林委員

市史の歴史的価値というのは、当然長く伝えられることになるわけですけれども、やはり現在、我々が生きている時代からさかのぼって、近い順にどうしても資料がたくさんあるという点で、そこに厚みが出てくるのは仕方がないと思うのですね。章立ての資料なんかを見ても、それはよくわかります。今、新しくここで市民が読むとすれば、やはり自分たちの身近な時代に関心を持つと思うのですね。でも、実際にこのように進んでいくのを目の当たりに見ていると、何か驚きがあると、私はそういう感じがいたします。

根岸委員長

ありがとうございます。なかなか市民の方が知りたい歴史というのが

資料から出てこなくて、特に江戸時代なんて、特殊な場合にしかものが書かれないというのがありますので、そこからどうやって日常の人々の生活などを描き出すのかというのが一つの工夫だろうと思っています。そんなことが少しでもできればと思っています。

林 委 員 市史編さん事業に係わってみて感じるのは、やはりここに集まる市史の編さん委員の力だけじゃなくて、もっと分厚い層の方達のお力にささえられている気がしています。調査員の方達のお力だとか、執筆をなさる方々のお力とかですね。

根岸委員長 我々よりも少し下の年代の人が多いのですけれども、そういう若い人たちがわりと一生懸命やっているの、何とかこんな形に集約できたというところはあります。執筆委員ですとか、専門調査員という人になるべく大事にして、それで市史の編さんに当たりたいと思っていますので、そこら辺のご協力もぜひよろしく願いできればと思います。

上原先生、何か、いかがでしょうか。

上原委員 直接的なお話ではないのでございますが、60周年を来年迎えるということで、昭和33年の10月1日に市制施行してから60周年、還暦を迎えるということでございます。人口も今年中には12万人を超えるという状況があるところでございまして、地方ではどんどん減っているようですが、まだまだ増えているという状況があります。ましてや、子供さんが結構多く来ているということで、学童保育だとか、保育園が足りないというような状況があるところでございます。

そうした中で、60周年ということで、委員長をはじめ、皆様のご協力によりまして、来年、通史編とかいろいろでき上がるということで、これは市民の楽しみだと思えます。事業に花を添える一つの事業だと思えますので、どうぞ今後ともお力添えをよろしく願いしたいと思えます。ちょっと関係ない話で、申しわけございません。

根岸委員長 とんでもありません。ありがとうございます。我々の力になりますので。編集委員の先生方で、何かご意見よろしいでしょうか。

キ 古文書講座について

根岸委員長 それでは、(2)その他について、何かございますか。

高木主事(学芸員) はい。平成29年度の事業の補足で、今年度も古文書講座の授業を設けております。古文書の入門編という目的で行います。

また、もう一つ、これも毎年行っているイベントで、多摩郷土誌フェア、こちらは多摩の市町村が集まって、それぞれの地域の歴史、または古文書の成果物を販売する機会となりますので、こちらへ今年も参加をいたします。小金井市の歴史、または小金井市の魅力をPRする機会です。続けて行います。

以上です。

根岸委員長 郷土誌フェアで少しは売れるのですか。

高木主事(学芸員) やはり最新版と、あといつも売れ行きがあるものは決まっていますので、大体安価のものから売れていきます。あとはやはり、最新版は何部

か売れますね。

根岸委員長 私も最近なかなか行けないのですが、やはり、多摩の市内でどのくらいのそうした郷土に関する書籍が出ているかとか、報告書が出ているかというのがわかるいい機会だと思いますし、その中で各市町村の本も注目されたりするところがありますので、ぜひ続けていただければいいかと思っております。

それでは、(1)平成29年度の事業計画全般について、何かご意見ございますでしょうか。

委員 (2議題(1)について了承)

根岸委員長 ありがとうございます。

中嶋委員 ほかのことでよろしいですか。これはもう、刊行後の先の話になるので、夢みtain話になるのかもしれませんが、市史の刊行をしたという宣伝も兼ねて講座を開催し、あとは刊行しながら市民にも還元してはどうかと思うのです。今すぐ言っても無理でしょうし、ある程度業績も関係してくるかと思っておりますので、そういうことも含めて考えてみたらどうかと思います。

根岸委員長 そうですね。特に若い執筆委員の方々に、そういう機会を設ける、それを何年か続けて、やはり、市内に市史の成果を定着させるというような努力とか、それはぜひやっていただければと思います。

(2) 次回の会議日程

根岸委員長 それでは、次回は10月16日(月)午後2時～、第3回は、2月5日(月)午後2時～ということで、皆さんよろしいでしょうか。

それでは、編さん委員会は終了いたします。ありがとうございます。

高木主事(学芸員) 5分ほど休憩していただいて、第二開発地区の遺跡の調査現場を視察いただきます。その後、編集委員会をこちらで行います。